

2026年11月期第1四半期 決算説明資料

2026年4月13日(月)

アステナホールディングス株式会社
(東証プライム市場:8095)



- 01 2026年11月期第1四半期 決算概況
- 02 (ご参考)会社・事業概要

01 2026年11月期第1四半期 決算概況

02 (ご参考)会社・事業概要

増収増益の主な要因

- ・ 売上高は、新規連結子会社の寄与もあり増収
- ・ 営業利益は、化学品事業、HBC・食品事業の寄与により増益
- ・ 通期業績予想に対して、売上高、各段階利益ともに概ね順調に推移

(単位:百万円)

	FY2025 1Q 実績	FY2026 1Q 実績	前年同期比	増減率	FY2026 業績予想	進捗率
売上高	14,334	16,557	2,223	15.5%	68,000	24%
営業利益	1,032	1,152	120	11.7%	3,400	34%
経常利益	1,042	1,079	37	3.6%	3,300	33%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	505	586	80	16.0%	2,350	25%
EBITDA	1,608	1,804	195	12.2%		

(注)EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

2026年11月期第1四半期 セグメント別業績

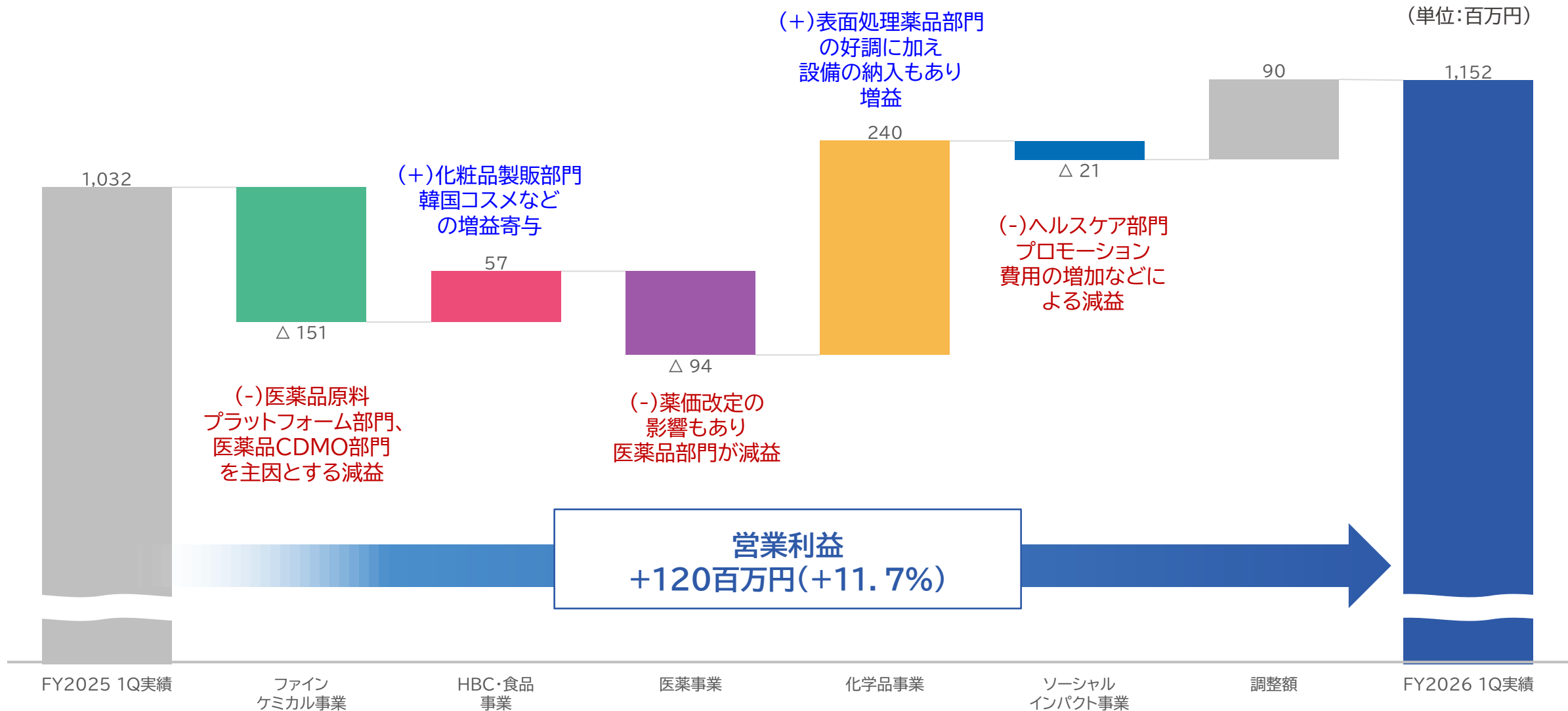
売上高は、HBC・食品事業池田物産グループの前第4四半期からの連結子会社化を主因に前年同期比2,223百万円の増収。
営業利益は、化学品事業、HBC・食品事業の増益により、前年同期比120百万円の増益を達成。

(単位:百万円)

	売上高			営業利益			営業利益率	
	FY2025 1Q	FY2026 1Q	前年同期比	FY2025 1Q	FY2026 1Q	前年同期比	FY2026 1Q	前年同期比
ファインケミカル事業	5,614	5,125	△ 489	365	214	△ 151	4.2%	△2.3pt
HBC・食品事業	3,674	5,504	1,829	208	265	57	4.8%	△0.8pt
医薬事業	2,827	2,971	143	355	260	△ 94	8.8%	△3.8pt
化学品事業	2,209	2,928	719	135	376	240	12.9%	6.7pt
ソーシャルインパクト事業	8	28	19	△ 57	△ 79	△ 21	△281.2%	411.4pt
調整額	-	-	-	24	114	90	-	-
連結	14,334	16,557	2,223	1,032	1,152	120	7.0%	△0.2pt

営業利益前年同期比増減

化学品事業、HBC・食品事業の増益が牽引し、他事業の減益を吸収し、前年同期比で増益を達成。



当期業績

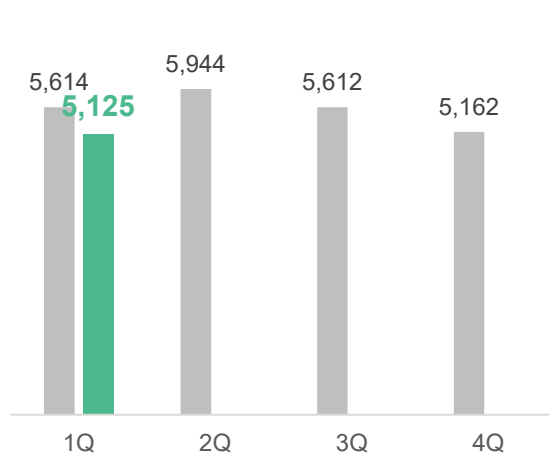
(単位:百万円)

	FY2025 1Q 実績	FY2026 1Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	5,614	5,125	△ 489	△8.7%
営業利益	365	214	△ 151	△41.3%
営業利益率	6.5%	4.2%	△2.3pt	

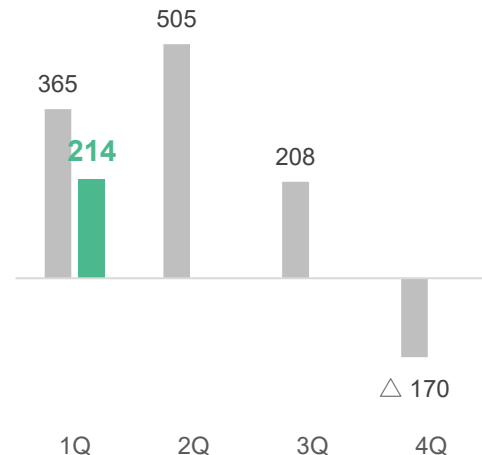
四半期推移

■FY2025 ■FY2026

売上高(百万円)



営業利益(百万円)



部門別増減要因

医薬品開発エコシステム部門

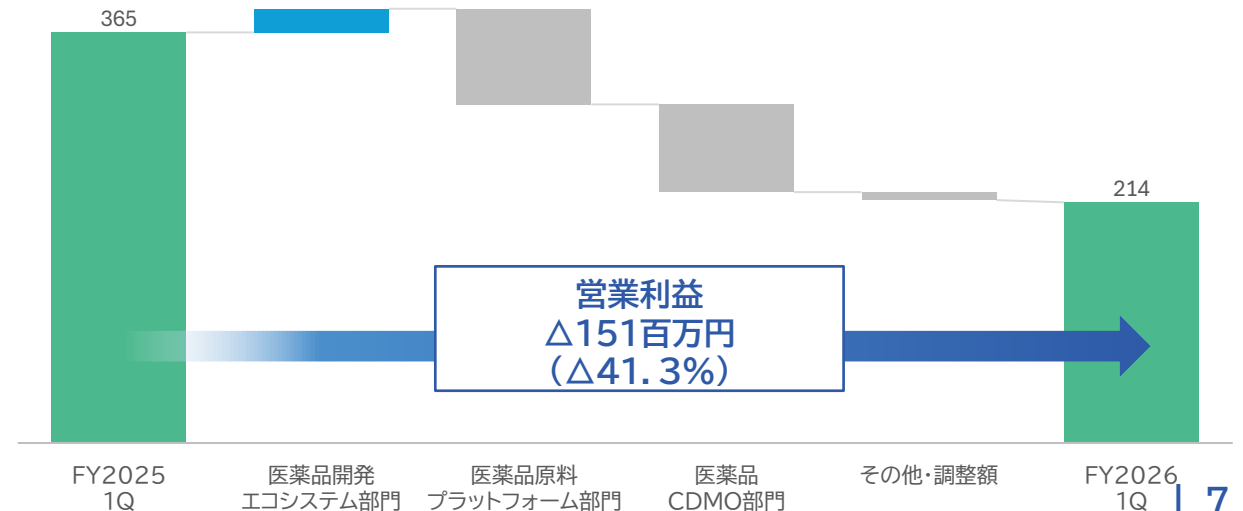
- CMC分野では、新規大口案件の獲得や、Molecular Hiving法を用いた中分子原薬プロセス開発案件の寄与もあり、売上・利益ともに順調に推移

医薬品原料プラットフォーム部門

- 中国における輸入規制強化に伴い一部輸入品の入手が困難となった影響などにより、売上・利益ともに低調に推移

医薬品CDMO部門

- 製剤製造分野においては一部資材の調達遅延の影響や、原料製造分野においては顧客起因による納入減があり、売上・利益ともに低調に推移



当期業績

(単位:百万円)

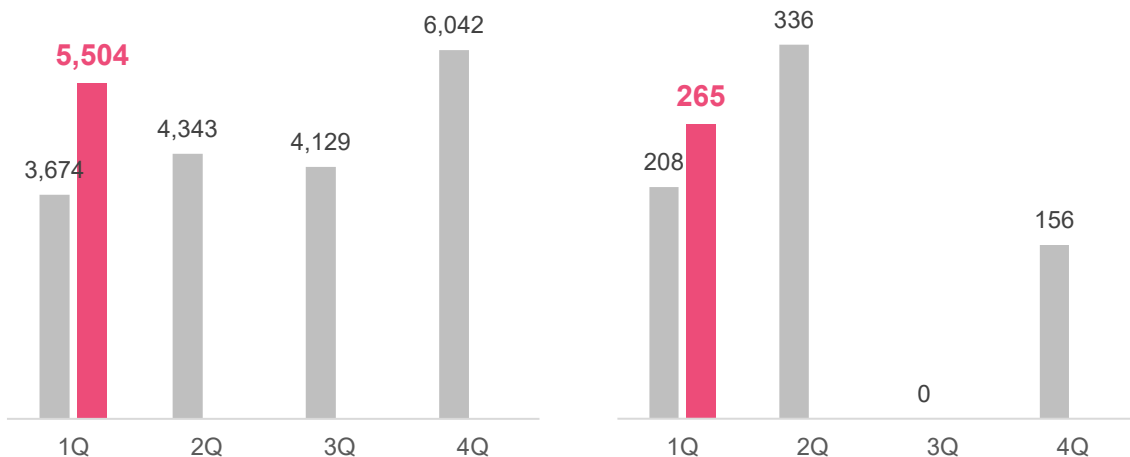
	FY2025 1Q 実績	FY2026 1Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	3,674	5,504	1,829	49.8%
営業利益	208	265	57	27.5%
営業利益率	5.7%	4.8%	△0.8pt	

四半期推移

■FY2025 ■FY2026

売上高(百万円)

営業利益(百万円)



部門別増減要因

食品原料部門

- Webによる原料検索フォーム「i-Platto(アイプラット)」を通じた新規獲得や、機能性食品原料の新規獲得が伸長したことにより売上が堅調に推移

化粧品原料部門

- 海外における新規顧客獲得により、売上・利益ともに堅調に推移

ライフサイエンス部門

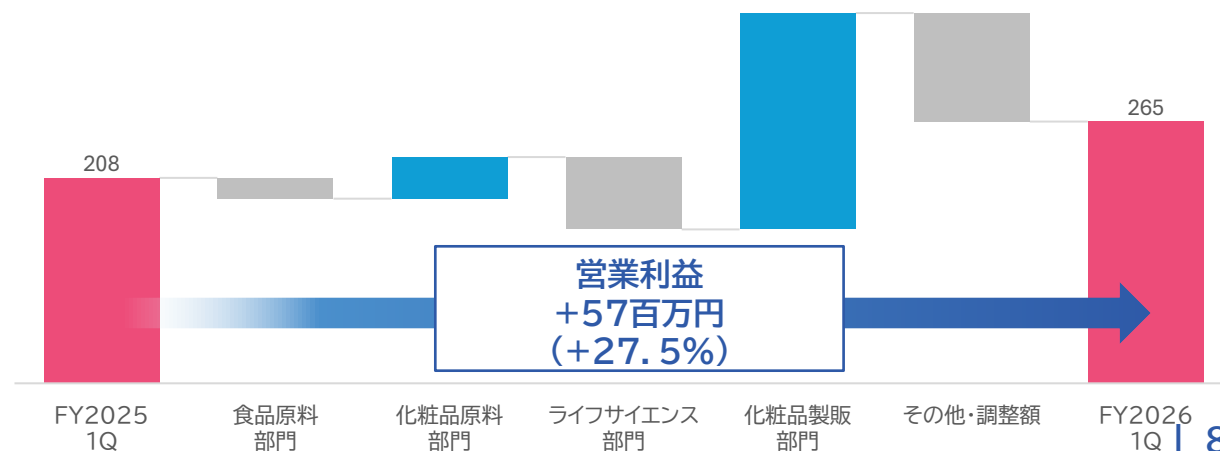
- 研究用試薬・臨床検査薬分野における前年同期の大口受注の反動減により売上・利益ともに低調に推移

化粧品製販部門

- 前期から引き続き輸入化粧品「Torriden(トリデン)」の販売が伸長したことに加え、通販化粧品においても主力製品のリブランディングによる販売拡大が寄与し、売上・利益ともに好調に推移

その他・調整額

- 池田物産グループの連結化に伴うのれん償却費や一過性費用などの計上あり



当期業績

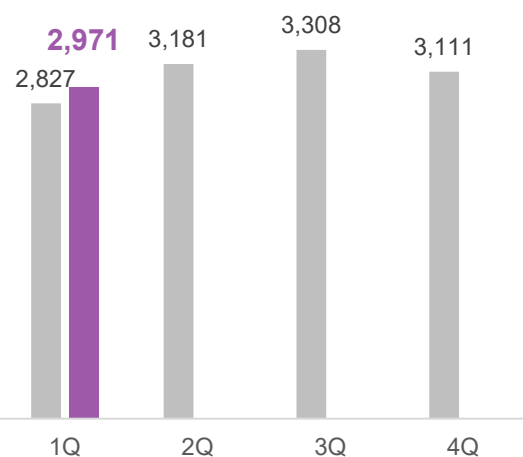
(単位:百万円)

	FY2025 1Q 実績	FY2026 1Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	2,827	2,971	143	5.1%
営業利益	355	260	△ 94	△26.7%
営業利益率	12.6%	8.8%	△3.8pt	

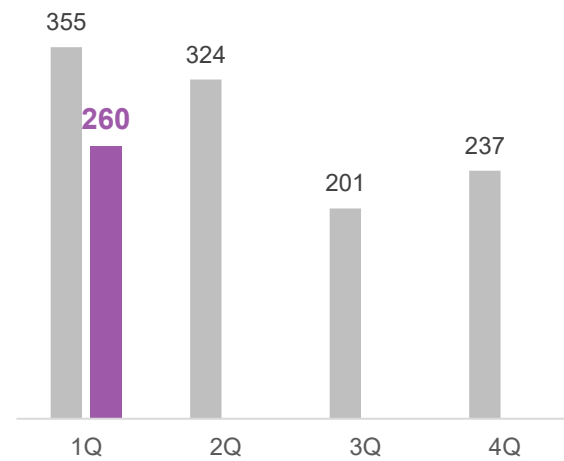
四半期推移

■FY2025 ■FY2026

売上高(百万円)



営業利益(百万円)



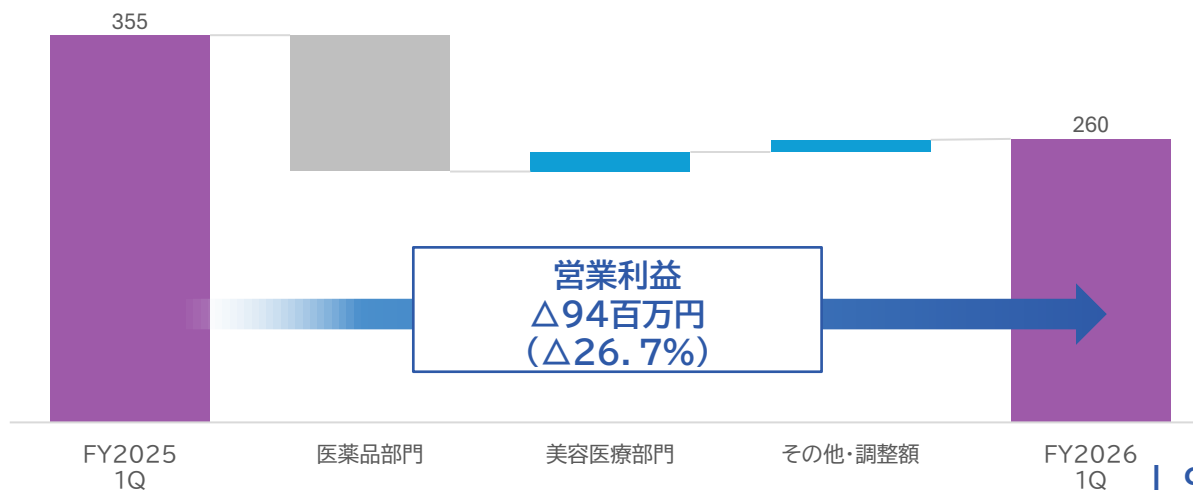
部門別増減要因

医薬品部門

- 引き続き選定療養制度や先発品の代替需要として後発医薬品の需要が高く「クロベタゾールプロピオン酸エステル『イワキ』」などをはじめとした販売が好調に推移
- 一方、2025年4月の薬価改定による販売価格の低下の影響や原材料費、製造委託費の上昇もあり利益は低調に推移

美容医療部門

- NAVISION DR(ナビジョン ディーアール)、「fillsera(イルセラ)」シリーズとともに主力品の販売が好調であったことにより、売上・利益ともに好調に推移



当期業績

(単位:百万円)

	FY2025 1Q 実績	FY2026 1Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	2,209	2,928	719	32.6%
営業利益	135	376	240	177.3%
営業利益率	6.1%	12.9%	6.7pt	

部門別増減要因

表面処理薬品部門

- 中国やアジア圏における受動部品向け薬品の新規獲得やプリント基板向け薬品の需要回復もあり売上・利益ともに好調に推移

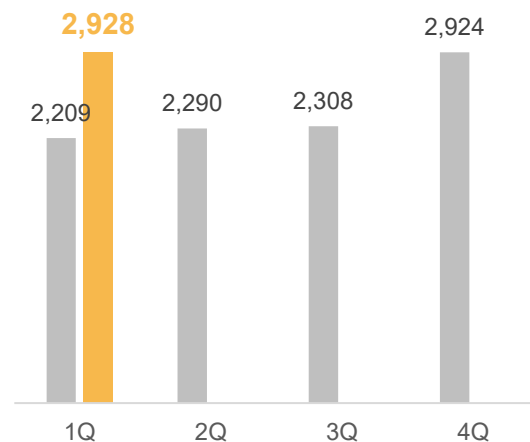
表面処理設備部門

- プリント基板製造設備の販売が好調であったことに加え、修理・メンテナンス分野の寄与もあり、売上・利益ともに好調に推移

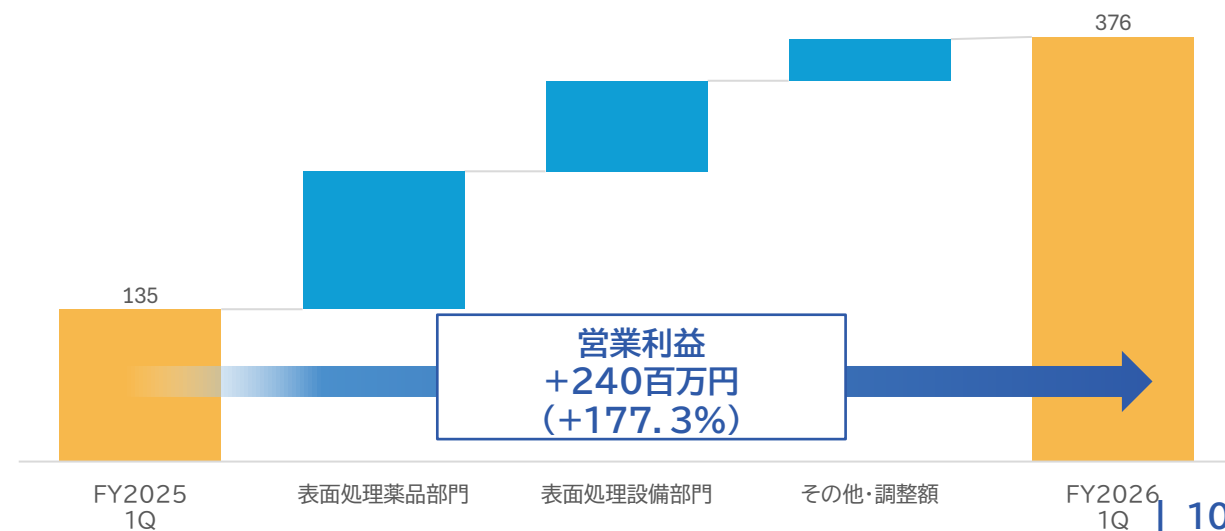
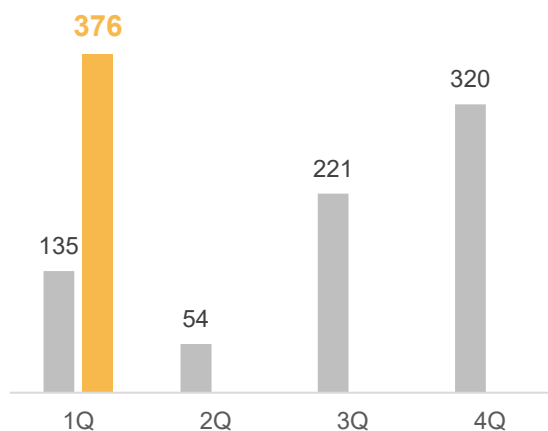
四半期推移

■ FY2025 ■ FY2026

売上高(百万円)



営業利益(百万円)



「能登から、未来の地域経済のかたちが生まれる。」を目指してヘルスケア部門と地方創生部門を中心に事業を展開。
販路拡大などにより売上高は前年同期比239%増の28百万円と大幅に増収も、先行投資もあり営業損失0.7億円を計上。

ヘルスケア部門

NAIA

NAIAは10年後、20年後、さらにその先まで、健やかな暮らしを提供し、豊かな自然を保護することを目指す、石川県奥能登発のヘルスケアブランドを展開。ブランド広告が北國新聞社主催の第54回北國広告賞において銀賞を受賞。

当四半期においても、引き続きメディアへの掲載やECモールへの展開により増収を達成。加えて、小売・専門店向け卸などBtoB販路の開拓も進展し、取扱店舗の拡大が進む。通販雑誌やホテルへの導入も着実に伸長しており、販売チャネルの多様化が進展。一方、商品開発や商品認知向上などの費用投下もあり、営業損失を計上。



地方創生部門

ふるさとNOW

地域の域外の人々が現地に赴いた際に、その場で納税ができて、その場で返礼品を受け取ることができるサービス「ふるさとNOW」を自治体向けに展開。売上高が前期比+46%と大きく伸長し、ふるさとNOW単体で損益分岐点を超え黒字化を達成。

現地でふるさと納税
ふるさとNOW

ファンド投資

能登地域を中心地域とする企業の支援や能登地震からの復興を目指す企業へ投資を行うファンド投資を行い持続可能な社会の実現を目指す。

のとSDGsファンド:累計16件の投資案件を実行中

のとBeyond復興ファンド:第1号投資先として能登に浄溜所を有する酒蔵
NOTO Naorai(株)へ投資を実行

のと
Beyond
復興ファンド

2026年11月期通期業績予想

売上高は、HBC・食品事業を中心に増収を見込む。すべての段階利益において過去最高益を目指す。
営業利益は、ファインケミカル事業を中心とする増益のほか、前期計上のHDなどにおける一過性費用の剥落もあり12.7%の増益を予想。

(単位:百万円)

	FY2025 実績	FY2026 業績予想	前期比	増減率
売上高	62,744	68,000	5,255	8.4%
営業利益	3,017	3,400	382	12.7%
経常利益	2,910	3,300	389	13.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,187	2,350	162	7.5%
ROE	8.4%	8.5%	0.1pt	

- 01 2026年11月期第1四半期 決算概況
- 02 (ご参考)会社・事業概要

会社概要

(2025年11月末日現在)

会 社	名	アステナホールディングス株式会社 (Astena Holdings Co., Ltd.)
本 社	社	本社／東京都中央区日本橋本町四丁目8番2号 珠洲本社／石川県珠洲市上戸町北方四字177番3
創 業	業	1914年(大正3年)7月10日
設 立	立	1941年(昭和16年)9月20日
代 表	者	代表取締役社長 瀬戸口 智
決 算	期	毎年11月末
資 本	金	46億2千9百万円
事 業 内 容		ファインケミカル事業、HBC・食品事業、医薬事業、化学品事業、ソーシャルインパクト事業
グ ル ー プ 会 社		スペラファーマ(株)、イワキ(株)、岩城製薬(株)、メルテックス(株)、アステナミネルヴァ(株)など 子会社27社、関連会社1社

株式情報

上 場 市 場	東証プライム市場
証 券 コ ー ド	8095
発行可能株式総数	136,000,000株
発行済み株式総数	41,097,566株
株 主 数	52,810人

5つの事業で合計13部門で日々の暮らしに密接に関わる多様な製品・サービスを提供しています。

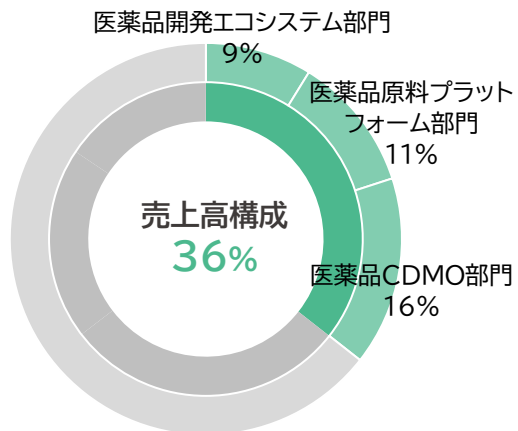
戦略	事業	部門	事業概要	主要事業会社
プラットフォーム戦略	ファインケミカル事業	医薬品開発エコシステム部門	医薬品のCMC研究開発および製造受託	スペラファーマ JITSUBO
		医薬品原料プラットフォーム部門	医薬品原料の販売	スペラネクサス(商社機能)
		医薬品CDMO*部門 *Contract Development and Manufacturing Organization	医薬品、医薬品原料の製造・販売	スペラネクサス(製造機能) 岩城製薬佐倉工場
	HBC・食品事業	食品原料部門	食品原料、機能性食品原料の販売、受託加工	イワキ
		化粧品原料部門	化粧品原料の販売	イワキ、池田物産 IKEDA Corporation of America
		ライフサイエンス部門	創薬支援・体外診断用医薬品、医療機器、薬事サポート事業	イワキ
		化粧品製販部門	化粧品、健康食品等の卸売り、通信販売 化粧品の輸入代行など	マルマンH&B、アプロス アインズラボ
ニッチトップ戦略	医薬事業	医薬品部門	後発医薬品を主とした医薬品の製造・販売	岩城製薬
		美容医療部門	医療機関向け化粧品の販売	岩城製薬
	化学品事業	表面処理薬品部門	表面処理薬品の製造・販売	メルテックス 海外子会社
		表面処理設備部門	プリント配線板等の製造プラントの製造・販売	東京化工機など
ソーシャルインパクト戦略	ソーシャルインパクト事業	ヘルスケア部門	ヘルスケアブランド「NAIA」の企画・販売など	NAIA
		地方創生部門	ふるさと納税プラットフォームの構築	アステナミネルヴァなど

事業概要(ファインケミカル事業)

医薬品開発エコシステム部門、医薬品原料プラットフォーム部門、医薬品CDMO部門の3部門を柱とし、原材料調達からCMC研究開発、商用原薬生産から商用製剤製造まで、医薬品開発・製造の幅広いバリューチェーンでサービスを提供しています。

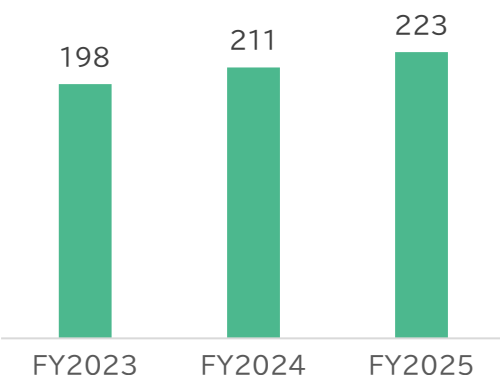
※CDMO:Contract Development & Manufacturing Organization ※CMC:Chemistry, Manufacturing and Control

売上高構成(2025年度)

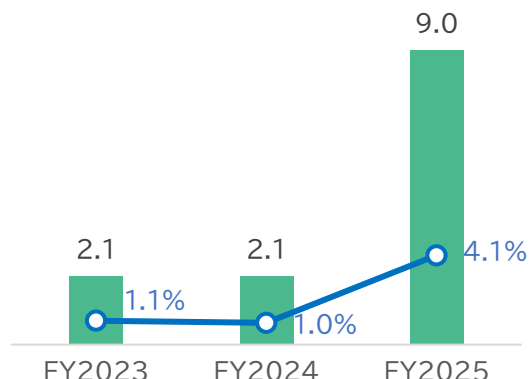


業績推移

売上高(億円)



営業利益/率(億円/%)



医薬品開発エコシステム部門

スペラ
ファーマ

- ・日本トップクラスの医薬品CMC研究開発を展開

JITSUBO

- ・ペプチド医薬品を支える特許技術であるMolecular Hiving™法の開発

医薬品原料プラットフォーム部門

スペラ
ネクサス
(商社機能)

- ・医薬品原料、原薬の国内外における仕入れ・販売
- ・国内大半の医薬品製造販売業とのビジネスコンタクトを有する

医薬品CDMO部門

スペラ
ネクサス
(製造機能)

- ・多彩かつ高度な大量製造技術を保有し、後発医薬品の商用原薬の製造、新薬の中間体及び原薬の受託製造

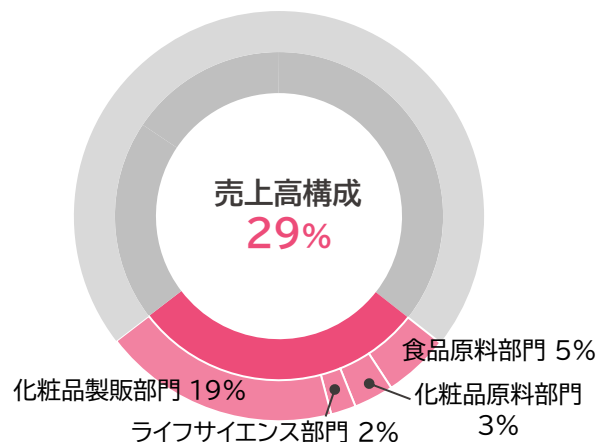
岩城製薬
佐倉工場

- ・新薬製造にも耐えうる注射剤、半固形剤、固形剤の製造受託が可能

事業概要(HBC・食品事業)

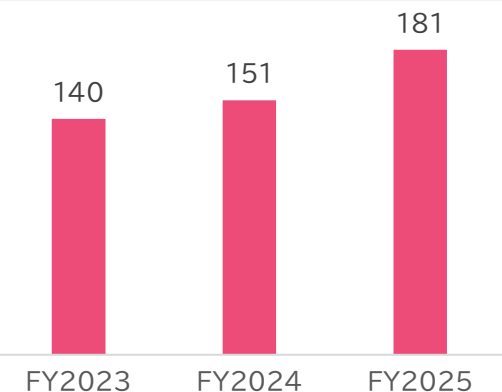
HBCとは、「Health & Beauty Care」の略称です。化粧品原料・食品原料の販売、化粧品・健康食品の販売と導入支援、研究用試薬・体外診断用医薬品・医療機器の販売と導入支援を中心に4つの部門で展開しています。

売上高構成(2025年度)

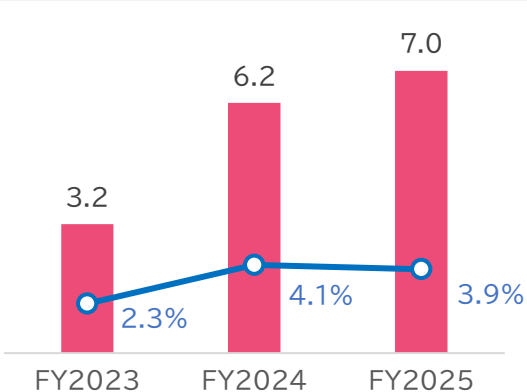


業績推移

売上高(億円)



営業利益/率(億円/%)



食品原料部門

イワキ

- 食品原料、機能性食品原料の仕入れ・販売

化粧品原料部門

イワキ
池田物産
IKEDA
Corporation
of America

- 化粧品原料の仕入れ・販売
- 国内外の原料素材メーカーのあらゆる商品を選別し化粧品メーカーに供給

ライフサイエンス部門

イワキ

- 創薬支援製品／受託サービス・研究用試薬・臨床検査薬、国内外の医療機器、人工呼吸器などの提供・販売
- 医療機器の薬事申請と製造販売業受託を主とする薬事支援業務

化粧品製販部門

アプロス

- 自社ブランド化粧品の通信販売

マルマン
H&B

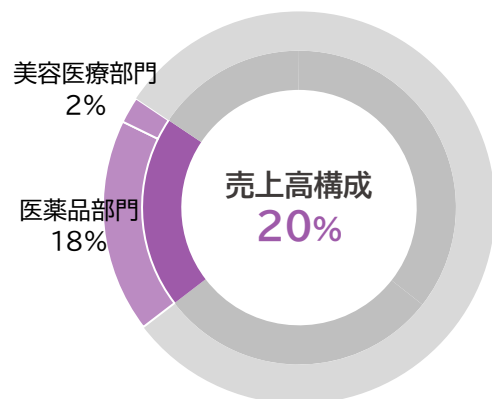
- 韓国などからのコスメの輸入・販売
- 健康食品、自社化粧品ブランドなどの開発・販売

アインズラボ

- 海外化粧品の輸入代行、化粧品分析・広告表現適法チェックなど

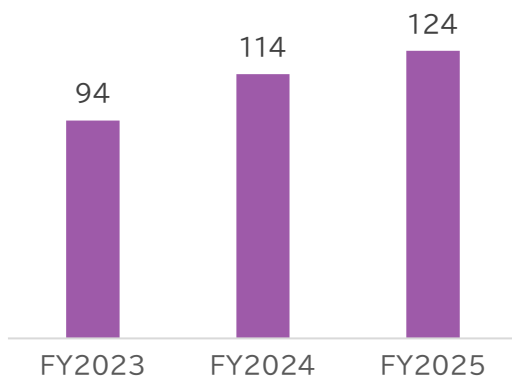
医薬品や医療機関専売化粧品の開発・製造・販売を行っております。医薬品部門は、軟膏やクリーム・ローションなどの半固形剤を主とする開発・製造・販売を行っております。美容医療部門では、美容施術の前後にも使用していただける医療機関専売化粧品を展開しています。

売上高構成(2025年度)

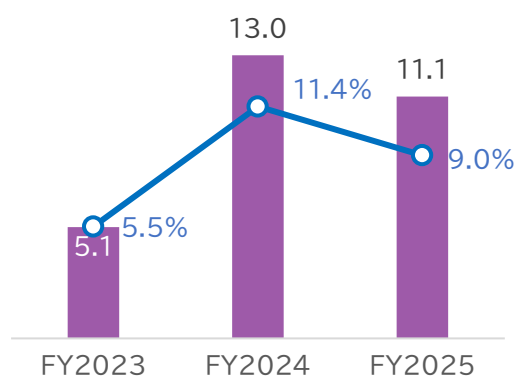


業績推移

売上高(億円)



営業利益/率(億円/%)



医薬品部門

岩城製薬

- 皮膚科領域の半固形剤に特化したニッチトップメーカー
- 高い皮膚科カバレッジを有する
- 希少な半固形剤の製剤開発技術を有する

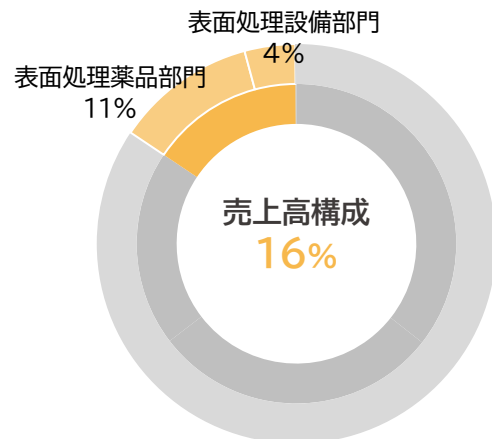
美容医療部門

岩城製薬

- 医療機関専売化粧品である「NAVISION DR (ナビジョンDR)」および「illsera(イルセラ)」ブランドを展開

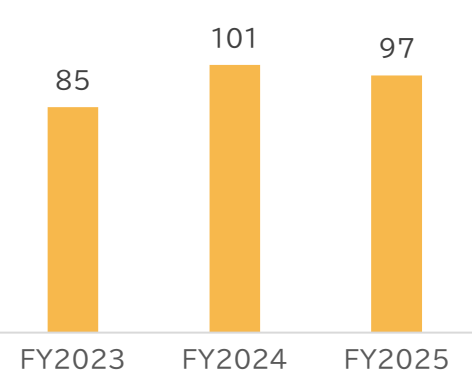
表面処理薬品の先端を目指して、プリント基板・電子部品・半導体・自動車の4セグメントを中心に研究開発や新しい製造方法の開発に注力しています。また、プリント基板製造に欠かせない装置を製造販売し、薬品と装置の総合的なソリューションを提供しています。

売上高構成(2025年度)

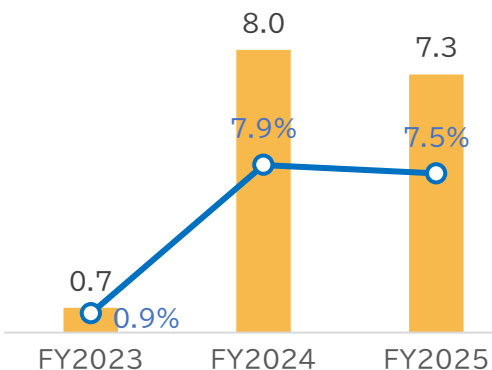


業績推移

売上高(億円)



営業利益/率(億円/%)



表面処理薬品部門

メルテックス
海外子会社

- ・エレクトロニクス業界におけるハイエンド表面処理薬品に特化したニッチトップメーカー
- ・主としてアジア諸国に広いカバレッジを有し、半導体・電子部品領域で高い市場シェアを確保

表面処理設備部門

東京化工機
海外子会社

- ・プリント基板製造用の高品質、高精細なエッチングマシンの製造販売

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています。

お問い合わせ窓口
アステナホールディングス株式会社
経営企画部 広報・IRグループ
Tel:03-3279-0564